

建学の精神

「女性の社会的地位の向上を目指し、女性にふさわしい職業的技能と幅広い教養を身につけた、自立できる社会人の育成」

本学の建学の精神は、自立の手段を持たず狭い社会に閉じ込められていた女性の、職業的技能と教養を身につけることをめざすという当時としては「時代を先取りする精神」をもっていました。社会は大きく変わり、今日、女性に限らず一人ひとりが人間として幅広い教養を身につけ、自律的な社会人を育成していくことが求められています。本学は、時代を先取りする精神性を現在に生かし、新たな共生社会の創造をめざし、現代人にふさわしい専門的実践能力を身につけた「時代を切り開く人材」の育成をめざします。

教育理念

「愛と和と英知」

- 愛　：人間の存在とその価値を認め尊敬していきたいと願う温かな心情、誠実、真心
地球規模での人類の発展と平和を願い、共生社会に生きる人間の育成
- 和　：互いの違いを理解したうえで取り結ばれる平和を希求する心、友情、協調性
他者への深い理解と柔軟で寛容な精神の育成
- 英知：深遠な道理を探求し、深い知性、実践的な知恵
真の实在や心理を捉えることのできる認識力・実践力の育成

北翔大学シンボルマーク



北翔大学で成長し社会に飛び立つ学生たちを、北の大地で成長し大空高く翔ようとする鳥になぞらえました。そんな鳥たちを育てる栄養分（=サポート・教育）としての大学を目指し、その大きく成長していく鳥たちの背中を見続けたいという想いを込めたマークです。

北翔大学大学院で学ぶみなさんへ

～学長からみなさんへ～

北翔大学

学長 西村 弘行 Hiroyuki Nishimura



先進国の多くが高学歴時代を迎え、科学技術がめざましい発展を遂げつつある現在、知識や情報、技術を含む学問の高度な専門性は、学部教育をはるかに超えて、大学院教育にその中心が求められるようになりました。同時に、「生涯学習」の思想と実践が拡がりを見せ、学部卒業後何年も経つ人たちが、知的好奇心やあるいは職業上の必要性から、あらためて学問の専門性を求め、大学院に多数入学してきています。

人間福祉学研究科と生涯学習学研究科は、まさにこうした時代の要請を反映するものですが、平成25年度に新たに生涯スポーツ学研究科が加わり、本大学院は、3つの研究科を擁することとなりました。身体を科学する生涯スポーツ学研究科の開設は、時代を先取りする研究分野への挑戦です。3研究科は、それぞれ専門性を追求しつつ広く門戸を開放し、また対象に対する多様なアプローチを許容することによって、大学院生の学問に関わる主体性を磨き上げます。飽くことのない探求心が、「知の共同体」たる北翔大学大学院を支える大きな力になるはずです。

学問の専門性は、科学の発展を生み、科学は、自然の不思議や脅威の克服を通して「人類の幸福」に奉仕することを目指してきました。しかし、いつかどこかで、向かうべきその方向が曖昧になり、私たちは、手放しの科学礼賛のつけを、「環境破壊」や「貧困問題」という「人類の危機」で支払っているのが現状です。この紛れもない最大の代償が、東日本大震災がもたらした「日本社会の危機」であり、まさしく「人類の危機」であります。ですが、こうした危機を救うのも、また、おそらく科学であり、それは新たな枠組みで再編された「ヒューマンな科学」に他なりません。本学大学院が、心と知の営みを撚り合わせた「ヒューマンな科学」の発信地となり、真の意味で「人類の幸福」に奉仕する「知の共同体」となれば、これ以上の喜びはありません。

みなさんの研究の深化に心から期待しています。